

DX人材育成講座

抜粋

2023.04.05
Be# Consulting
三倉達矢

はじめに

人口減少、少子高齢化、労働人口減少、働き方改革、コロナ禍、
「人手」だけでは成り立たない時代が、すぐそこまで迫っています。

だからこそ、今求められるのはデジタル活用、DX（デジタルトランスフォーメーション）です。

DXによって、もっと便利で、もっと働きやすい環境を。

加速度的に進むデジタル技術を味方に付けながら、持続的成長を目指す。

そのためにも、DXを学び、実践していく。

本講座では、DXの基本部分を学び、実践へ繋げる第1歩をサポートします。



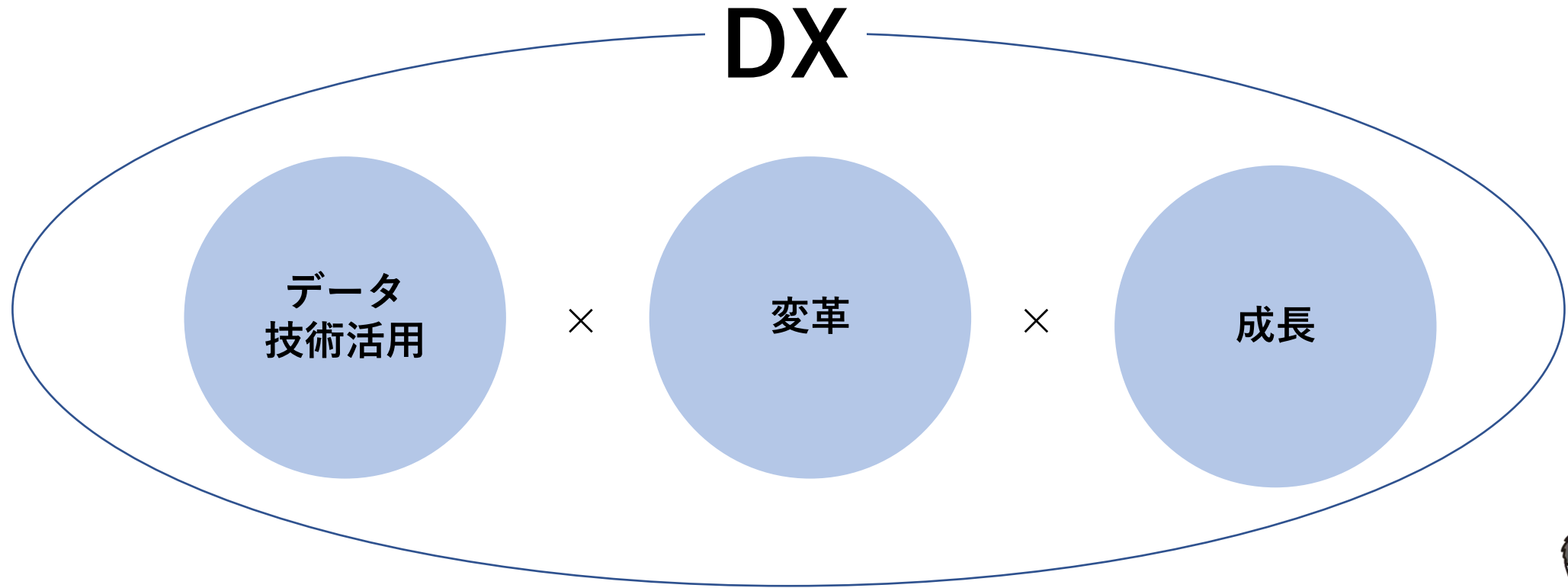
目次

- ①DXとは
- ②なぜDXが必要なのか
- ③DXのアプローチ
- ④DX人材とは
- ⑤DX人材育成プログラム



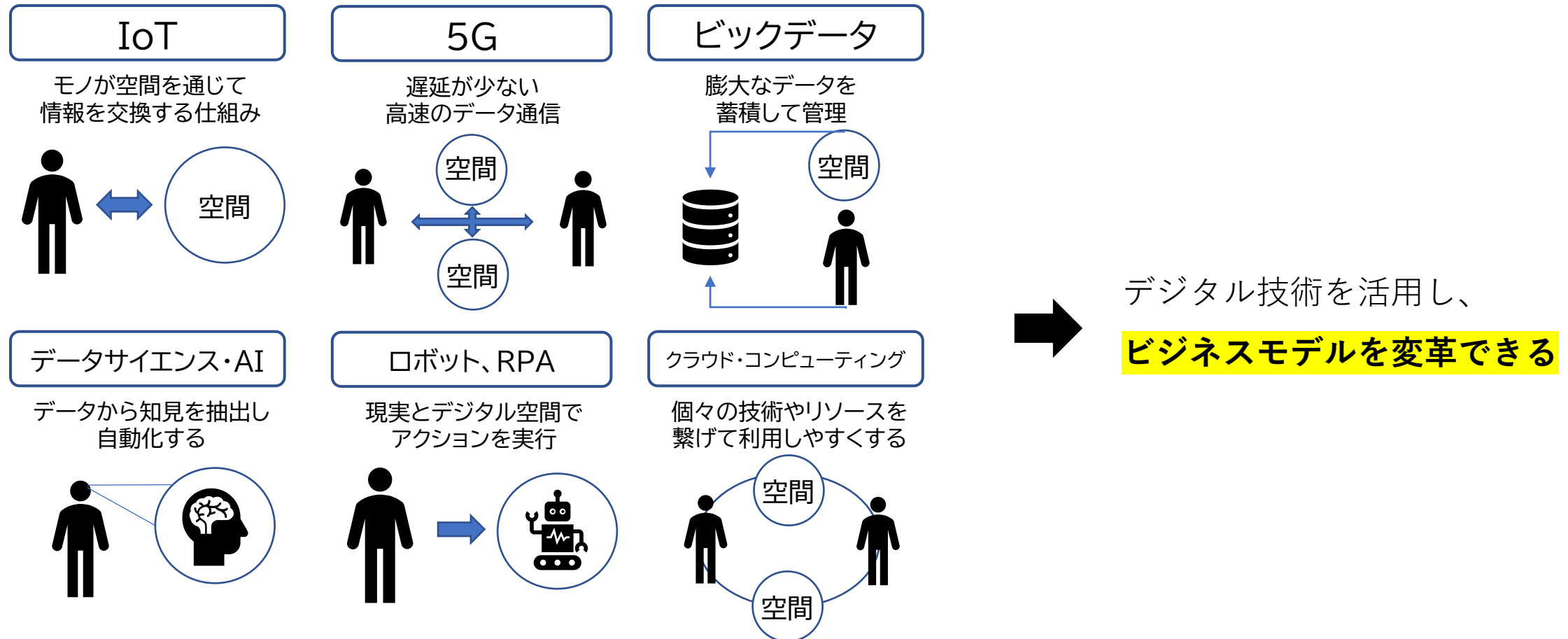
DXとは

DXを簡略化すると次のイメージとなる



なぜDXが必要なのか

テクノロジーの革新により従業員数に関わらず労働生産性を高めるチャンス



なぜDXが必要なのか

中小企業にとってDXが必要な2つの理由

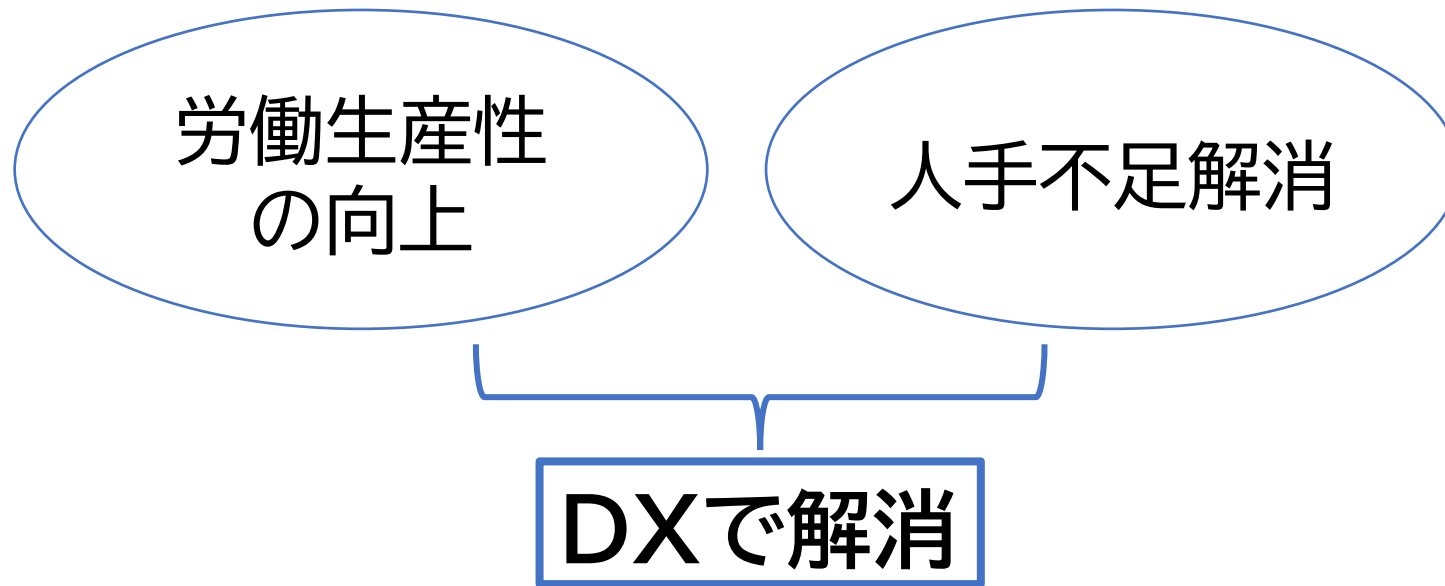
労働生産性
の向上

人手不足解消

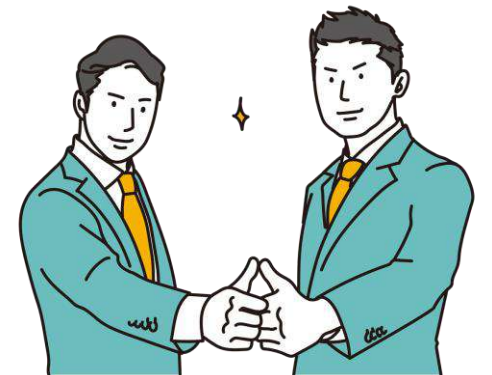


なぜDXが必要なのか

DXにより労働生産性向上と人手不足解消を目指す



- 人手に頼らない事業規模拡大
- 人でなければできない仕事に集中
- 人が魅力を感じる仕事を設計



DXアプローチ

DXは2つのレイヤーで考える

事業レベルのDX

DX戦略の策定
中長期スケジュール
組織戦略
マーケティング戦略
商品開発
生産体制



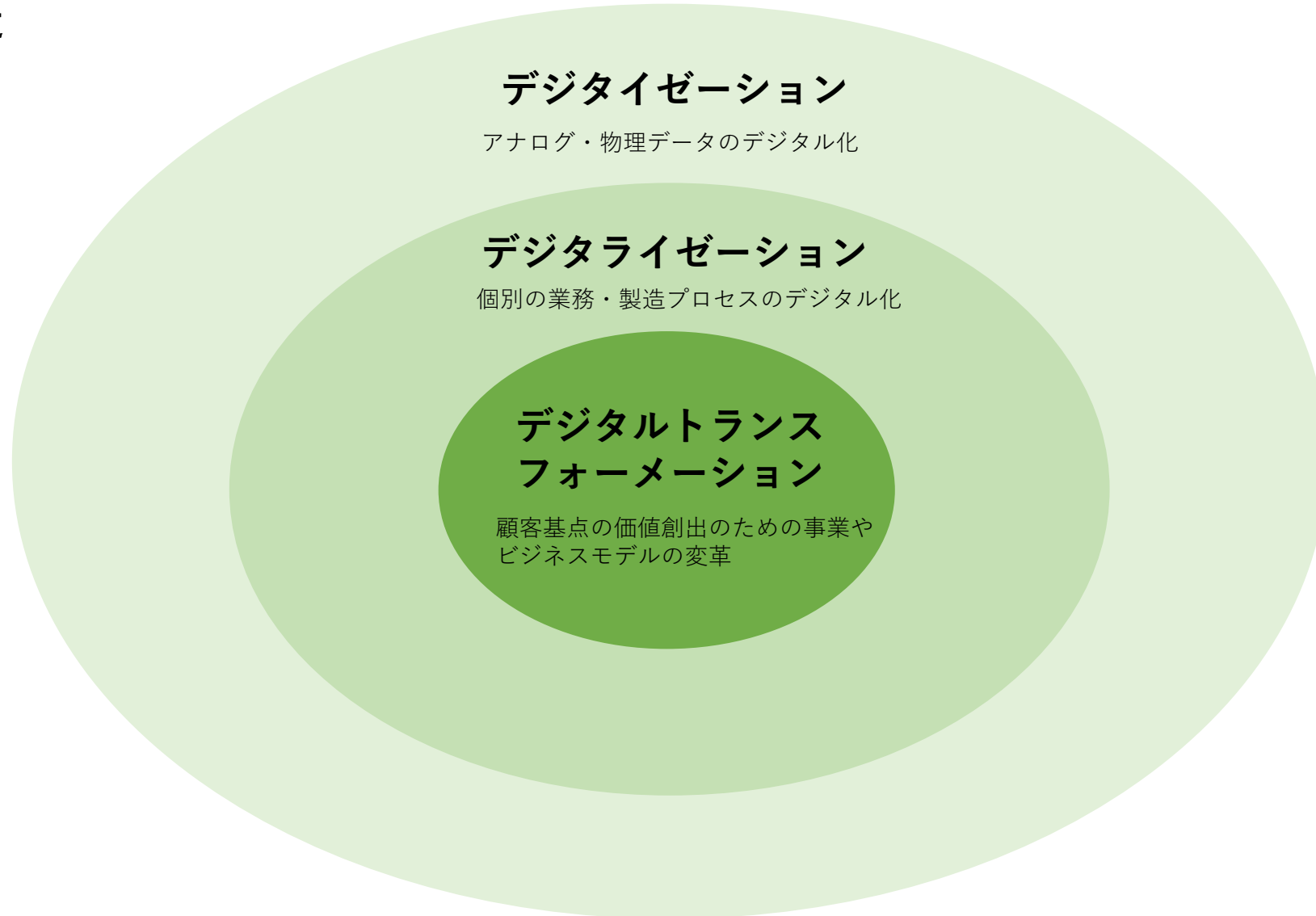
現場レベルのDX

業務分析
可視化
人とシステムの棲み分け
システム化、外注化



DXアプローチ

DXの構造



DXアプローチ

DXの推進パターン

デジタルイゼーション

部分的デジタル化

DX人材の育成
デジタルツール導入

デジタルライゼーション

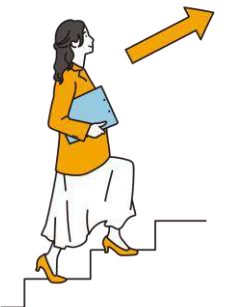
業務プロセス変革

従業員のリテラシー向上

デジタルトランス フォーメーション

全社戦略の再定義

ビジネスモデルのデジタル化

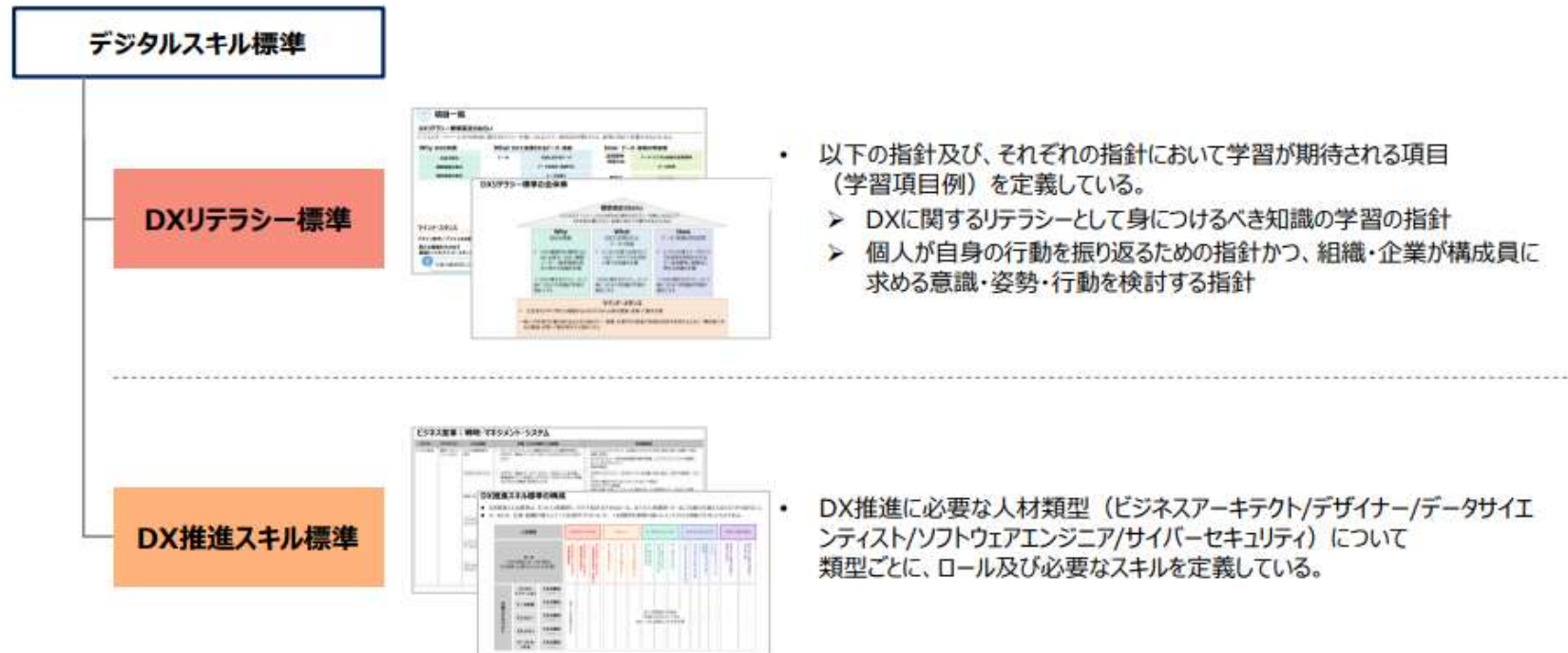


DX人材とは

「DXリテラシー標準」と「DX推進スキル標準」を備える人材

デジタルスキル標準の構成

- デジタルスキル標準は「DXリテラシー標準」と「DX推進スキル標準」の2つの標準で構成され、前者はすべてのビジネスパーソンに向けた指針及びそれに応じた学習項目例を定義し、後者はDXを推進する人材の役割（ロール）及び必要なスキルを定義している。



引用：IPA 経済産業省 デジタルスキル標準
<https://www.ipa.go.jp/files/000106867.pdf>



DX人材とは

DX人材は、「リテラシー標準」と「推進スキル標準」を身に着けた人材



引用：IPA 経済産業省 デジタルスキル標準ver.1.0
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/20221221002-1.pdf

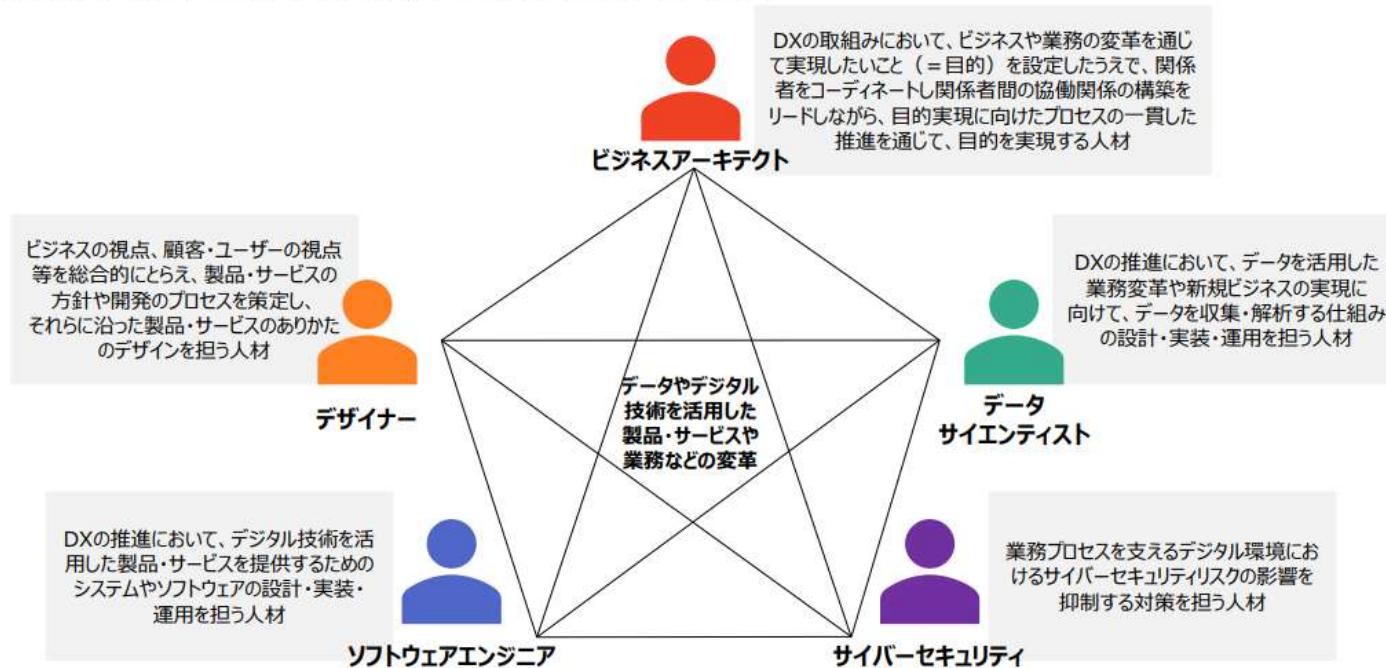


DX人材とは

DX人材は5つの類型に定義される

人材類型の定義

- DXを推進する主な人材として5つの人材類型を定義した。
- DXを推進する人材は、他の類型とのつながりを積極的に構築した上で、他類型の巻き込みや他類型への手助けを行うことが重要である。また、社内外を問わず、適切な人材を積極的に探索することも重要である。



引用：IPA 経済産業省 デジタルスキル標準ver.1.0
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/20221221002-1.pdf

DX人材とは

中小企業にとって必要なDX人材

「DX人材の育成や採用はなかなか難しい」
という中小企業は敷居を下げて考えてみる



- ① **経営者のサポートができる人材**
- ② **外部のDX人材や専門家と話ができる人材**



「DX人材候補」

